【別添】

チェックリスト

１．燃焼機器本体

□火災予防条例等に定められたボイラー設置届出書の写しは保管しているか	イ．保管している	ロ．保管していない	ハ．届出対象でない
□機器の使用・取扱説明書は常備しているか	イ．常備している	ロ．常備していない	
□機器の使用上の注意事項等を記載した書面等を運転担当者に徹底させているか	イ．周知している	ロ．周知していない	
□機器に適合する種類の燃料が供給されているか（ＬＰガス、都市ガス、重油、灯油）	イ．供給されている	ロ．供給されていない	
□メーカー・ガス事業者等による機器の調査点検票は保管しているか	イ．保管している	ロ．保管していない	ハ．調査点検を受けていない
□機器のメーカーと製造年月日は把握しているか	イ．把握している（メーカー名：　　、型式：　　、製造年月日：　　）	ロ．把握していない	
□機器の設置事業者と設置年月日は把握しているか	イ．把握している	ロ．把握していない	
□機器に燃焼状態を確認できる状態にあるか	イ．確認できる（覗き窓・表示灯）	ロ．確認できない	

２．機器のメンテナンス

□定期的に機器の燃焼状態についての点検を行っているか	イ．点検している	ロ．点検していない	点検頻度（　　）
□ボイラーのメンテナンス契約を締結しているか	イ．契約している（メンテナンスの頻度：　　）	ロ．契約していない	
□機器の点検方法はどのようなものか	イ．目視	ロ．燃焼させ炎色確認	ハ．燃焼させＣＯ濃度測定　ニ．その他
□機器の点検・清掃等は誰が行っているか　例：オーナー、ボイラー担当者、委託先　等	（　　）		
□機器の点検記録は保管されているか	イ．保管している（　　）	ロ．保管していない	
□最新時点での点検はいつ行ったか			
□その際、何らかの異常が発見されたか	イ．異常あり（　　）	ロ．異常なし	
□異常があった場合、適切な対応策を講じたか	イ．講じた（　　）	ロ．講じていない	ハ．異常なし

３．機器の給排気部

□機器の給気部分に異常はないか　目詰まり等はないか	イ．異常なし	ロ．異常あり	
□給気ファン、排気ファンに異常はないか	イ．異常なし	ロ．異常あり	

４．建物及び煙突・排気筒

□建物構造等の図面（新築時、改築時）はあるか	イ．保管している	ロ．保管していない	
□煙突の位置（煙道）は全て把握されているか　排気の経路は把握しているか	イ．把握している	ロ．把握していない	
□煙突と機器の接続は、隙間の無いように確実に行われているか	イ．異常なし	ロ．異常あり	
□煙突の先端部には蓋や障害物等はないか　また屋根より上に出ているか	イ．異常なし	ロ．異常あり	
□煙突は定期的に点検や清掃を行っているか　その記録は保存されているか	イ．点検・清掃している	ロ．点検・清掃していない	点検頻度（　　）
□煙突から煙や排気が建物内に流入してくる構造となっていないか	イ．異常なし	ロ．異常あり	
□先端以外の部分は全て密閉構造になっているか　すき間から居室等に排気が漏れることはないか	イ．異常なし	ロ．異常あり	

５．厨房やボイラー室等の安全確保策

□厨房やボイラー室は、換気が可能な構造（窓、開口部等）になっているか	イ．換気可能	ロ．換気不可能	
□換気扇は設置されているか　目詰まり等はないか	イ．異常なし	ロ．異常あり	ハ．設置されていない
□燃料がガスの場合、ガス漏れ警報器は設置されているか　使用期限内か	イ．設置されている	ロ．設置されていない	
□不完全燃焼警報器（ＣＯ警報器）は設置されているか	イ．設置されている	ロ．設置されていない	
□機械換気の場合、換気忘れのための措置はとられているか	イ．措置している	ロ．措置していない	

６．顧客スペースの安全確保策

□顧客の安全確保のため、警報器は設置されているか（複数選択可）	イ．火災警報器	ロ．ガス漏れ警報器	ハ．不完全燃焼（ＣＯ）警報器　ニ．なし
□警報器の設置場所はどのようになっているか　例：各客室、廊下　等	（　　）		
□客の避難経路は確保されているか	イ．確保されている	ロ．確保されていない	

７．その他

□所有権の移転等が過去にあった場合、以上の情報を文書で引き継いでいるか	イ．引き継いでいる	ロ．引き継いでいない	ハ．事業主体は変更されていない

異常があった場合には、メーカー等にすぐに連絡を取ってください。